

授業概要

人間の心身の発達を学ぶことは、自己理解や他者理解の基本的知識となりうる。将来、人と関わる職業に就くことを考えている者は、人間の発達段階、発達課題といった基本的な知識や概念を理解しておくことが望ましい。将来、自分が父親または母親になったときにも大いに役立つ。発達心理学に関する知識の習得にとどまらず、家庭、幼稚園、保育所、小・中学校といった現場での実際の子どもの姿も紹介する。

授業計画

第1回	人間を理解する上での発達心理学とは
第2回	出産、子育て巡る最近の話題
第3回	胎児期から新生児期の発達と特徴
第4回	乳児期の発達と特徴
第5回	幼児期の発達
第6回	幼児期の特徴
第7回	児童期の発達
第8回	児童期の特徴
第9回	思春期の発達
第10回	思春期の特徴
第11回	障害の分類と特徴
第12回	障害児保育・教育の実際
第13回	施設に入所している子どもの発達の特徴について
第14回	子どもを支える社会的資源
第15回	生涯発達の視点からの保育・教育
第16回	試験

到達目標

- ・発達心理学の学びを通して、人間の心身の発達に興味を持つことができる。
- ・受精から老年期までの人間の生涯発達の順序、課題といった重要事項を理解することができる。

履修上の注意

- ・学習意欲があり、予習・復習をして授業に臨むこと。
- ・心理学に興味・関心があること。
- ・グループワークを取り入れます。グループ毎に発表します。

予習・復習

・テキストの次回の学習箇所を最低3回音読してから授業に臨むこと。復習においても授業で学んだことを頭に浮かべながら再び教科書を3回音読すること。初めて聞いた言葉や発達心理学の専門用語については、事典を使って調べること。

評価方法

評価基準は授業への参加と発表(3割)、授業中の課題への取り組み(3割)、期末試験(4割)である。

テキスト

初回授業で指示する。